

# 平成10年度 結核・感染症サーベイランス事業関連のウイルス検査結果

## 微生物課 ウイルス検査担当

当所では平成4年から福岡県結核・感染症サーベイランス事業の福岡市内定点の検査を開始し、現在7定点で実施している。

10年度、当所に搬入された検体は検査定点医療機関の患者357名・376検体で昨年度の250名306検体に比べて多かった。ウイルスの分離同定は細胞培養（RD-18S・BGM・Vero・HEp-2・MDCK）、電子顕微鏡観察（EM）等で行った。

その結果、185株のウイルスが分離同定された。検体数

に対するウイルス分離率は49.2%で昨年度の50.7%とほぼ同じであった。

昨年度に比べインフルエンザ様疾患や無菌性髄膜炎がかなり増え、その他も増加傾向にあった。また搬入された検体の52.7%はインフルエンザ様疾患であった。

表1に本年度当所に搬入された検体のウイルス検査結果を示す。ウイルスが分離同定・検出された検体別の内訳は咽頭うがい液が63株、同様に咽頭ぬぐい液66株・ふん便13株・髄液45株・陰部尿道頸管擦過物2株であった。

表1 平成10年度当所搬入検体のウイルス検査結果

臨床診断名	患者数	検体数	陽性数	検体名	分離ウイルス名（分離株数）
感染性胃腸炎	7	7	2	ふん便	エコー7型(1)・同定不能(1)
手足口病	11	12	8	咽頭うがい液	コクサッキーA16型(1)
				咽頭ぬぐい液	コクサッキーA16型(4)・アデノ2型(1)
				ふん便	エンテロウイルス71型(1)・アデノ2型(1)
ヘルパンギーナ	12	12	5	咽頭ぬぐい液	コクサッキーB4型(1)・アデノ1型(1)・エコー30型(3)
インフルエンザ様疾患	197	198	106	咽頭うがい液	インフルエンザAH3型(23)・インフルエンザB型(24)・アデノ1型(2)・アデノ3型(4)・アデノ5型(1)・エコー30型(1)
				咽頭ぬぐい液	単純ヘルペス1型(1) インフルエンザAH3型(23)・インフルエンザB型(19)・アデノ1型(1)・アデノ2型(2)・アデノ3型(1)・コクサッキーB4型(1)・エコー6型(1)・エコー22型(1)
				ふん便	エコー30型(1)
無菌性髄膜炎	62	63	41	髄液	エコー6型(5)・エコー11型(1)・エコー17型(3)・エコー18型(1)・エコー30型(29)・コクサッキーA4型(1)
				ふん便	コクサッキーA4型(1)
脳・脊髄炎	6	8	2	咽頭ぬぐい液	インフルエンザAH3型(2)
陰部ヘルペス	7	8	2	陰部尿道頸管擦過物	単純ヘルペス2型(2)
不明発疹症	4	4	1	咽頭ぬぐい液	エコー18型(1)
流行性角結膜炎	4	4	1	結膜ぬぐい液	アデノ19型(1)
夏かぜ症候群	14	17	7	ふん便	アデノ3型(2)
				咽頭うがい液	アデノ3型(3)・エコー30型(2)
水痘	2	3	1	髄液	エコー30型(1)
乳児嘔吐下痢症	2	2	2	ふん便	A群ロタウイルス(2)
その他	29	38	16	ふん便	エコー6型(2)・エコー30型(1)
				髄液	エコー6型(2)・エコー17型(1)・エコー30型(1)
				咽頭うがい液	エコー30型(1)
				咽頭ぬぐい液	アデノ3型(1)・エコー6型(2)・エコー17型(1)・エコー30型(4)
合 計	357	376	194		

表2に本年度の月別、細胞別ウイルス分離状況を示す。ウイルスの分離は夏と冬に比較的集中し、特に冬期におけるインフルエンザウイルスの分離が顕著であった。本年度のウイルス分離同定はA群ロタウイルス2株を除き、すべて細胞培養によるもので、細胞別のウイルス分離株数はMDCKで88株・HEp-2で77株・RD-18Sで56株・BGMで20株・Veroで11株の順に多かった。アデノウイルスはHEp-2から、エコーウイルスはHEp-2とRD-18

Sから主に分離され、またインフルエンザウイルスはMDCKからのみ分離された。

本年度のウイルス分離の特徴は、インフルエンザウイルスにおいては、1月にA(H3)型が、2月以降にはB型が分離された。A(H1)型は分離されなかった。また、9年度に引き続き、主としてエコー30型による無菌性髄膜炎の流行が7月頃まで見られた。

表2 平成10年度月別、細胞別ウイルス分離状況

分離ウイルス	月別ウイルス分離状況													分 離 数	細胞別ウイルス分離状況					EM	LA					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	RD-18S		BGM	Vero	HEp-2	MDCK								
コクサッキーA4型					1				1							2	2									
コクサッキーA16型		2		1					1	1						5	5				2					
コクサッキーB4型				1								1				2		1	2		1					
エコー6型				3	2	4			1	1						11	8	1	2	10						
エコー7型												1				1	1	1	1	1						
エコー11型				1												1	1	1								
エコー17型		1	1	1				1								4	3	1			2					
エコー18型				2												2	1	2								
エコー22型												1				1				1	1					
エコー30型		7	15	17	1				1							41	31	11			39					
エンテロ71型		1														1					1					
アデノ1型		1							1	1		1				4					4					
アデノ2型					1				1	2						4			2		4					
アデノ3型		1	4						2	1		1				9					9					
アデノ5型												1				1					1					
アデノ19型												1				1					1					
単純ヘルペス1型												1				1	1	1	1	1	1					
単純ヘルペス2型				1	1											2	1	1	2	1	1					
インフルエンザAH3型									1				38	6	1	46										45
インフルエンザB型													2	26	15	43										43
A群ロタウイルス															2	2									2	2
同定不能												1				1	1			1	1					
合 計		1	16	16	27	6	4	5	5	9	44	35	17	185	56	20	11	77	88		2	2				

RD-18S・BGM・Vero・HEp-2・MDCK：細胞名 EM：電子顕微鏡観察 LA：ラテックス凝集法